授業計画書

担当教員名: 小林・明石・北澤　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　2年次 フラワーコーディネートコース	樹木学	前期	コマ (　　)	32 コマ (　　)
			備考 1週間集中講義 対面授業のみ実施	

授業のねらい
地上に生育する樹木は多種多様であり、それぞれの種についての知見を深め、樹木の存在意義や重要性を認識する。
可能な限り多くの種に接する機会を持ちたい

授業計画	
テーマ	内容・方法・達成目標
樹木学の領域、樹木の位置づけ 樹木の分類、命名と検索 樹木の大区分：種子植物と裸子植物 以下の各論についての基本方針解説 ・マツ科の携帯・分布・系統・植生 ・スギ科について ・ヒノキ科について ・その他の裸子植物について ・ヤナギ・カバノキ科について ・ブナ科について ・モクレン科について ・ツバキ科について ・カエデ科について ・同上以外の離弁花類の解説 ツツジ・モクセイ科について その他の合弁花類の解説	樹木について認識することには、実物との対応ができないと、利活用にふべんであるので、実物に接しながら講義を進めることを基本とする。

評価方法
聴講者それぞれに樹木の1種を選択させて、講義の内容と独自の調査研究からレポートをまとめて提出し、それをもとに評定する。樹木の選択は、聴講者ごとに
別種とする。

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題レポート	80	%
期末試験		%
		%

教科書・教材

プリントを配布する

学生へのメッセージ

樹木の種類と特徴がわかると山や街の景色が変わって見え、楽しくなります。そしてたくさんの樹木に興味を持ち
学んだ知識を今後の仕事に役立てましょう。

授 業 計 画 書

担当教員名:　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　1年次 フラワーコーディネートコース	植物学概論	前期	2 コマ （　　）	32 コマ （　　）
			備考　対面授業のみ実施	

授業のねらい

植物（草本及び木本）の体がどのような作りをして、それが生育とどのような関わりを持っているかを理解する。
植物体中における養分動態と吸収および自然界での養分供給のメカニズムを学ぶことで、植物の成長についての理解を深め
肥培管理や成長コントロールのための基礎知識を習得する。

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	植物のふしぎ	講義の説明、導入
2	植物の体のつくりと働き　1	植物細胞
3	植物の体のつくりと働き　2	組織系
4	植物の体のつくりと働き　3	根のつくり
5	植物の体のつくりと働き　4	葉のつくり
6	植物の体のつくりと働き　5	花・実のつくり
7	植物の体のつくりと働き　6	1章まとめと練習問題
8	植物の生活　1	植物の成長
9	植物の生活　2	成長ホルモン
10	植物の生活　3	光合成と呼吸作用
11	植物の生活　4	水と栄養
12	植物の生活　5	病害
13	植物の生活　6	植物の分類・分布
14	植物の生活　7	生態系
15	試験対策	2章まとめと練習問題、期末試験にむけた解説
16	レポート作成	講義で学習した内容を振り返り、レポートにまとめて提出する

評価方法

出席、受講態度、課題レポート、期末試験などで総合的に評価

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題レポート	10	%
期末試験	70	%
		%

教科書・教材

改定　植物学概論　（職業訓練教材研究会）
視覚でとらえる生物図録

学生へのメッセージ

当校で学ぶ野菜・果実・花を扱う実習授業を受講するにあたり、植物の生理・生態を科学的に理解した上で
知識と技術を習得するのが合理的であり、その基礎となる重要な科目である。

授業計画書

担当教員名: 秋山　正之　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　1年次 フラワーコーディネートコース	販売サービス	1年後期	2 コマ （　　）	32 コマ （　　）
			備考 対面授業のみ実施	

授業のねらい

《目的》
1. 仕入方法やマーケティングなど、販売活動の一連を学び、一部の店舗運営業務が実践できることを目指す。
2. 接客に必要な言葉遣い、ホスピタリティを学び、販売員に求められる接客の立ち振舞いができることを目指す。

授業計画	
テーマ	内容・方法・達成目標
1. イントロダクション　～コンビニの経営戦略～	身近な小売業・コンビニエンスストアで実践している経営戦略をワークを通じて学び、授業で学ぶことを紹介する。
2. 小売業の役割	小売業が社会に果たしている役割を学ぶ。
3. 商品計画・仕入計画	マーチャンダイジングの一連を学び、商品計画、仕入計画における留意点と品ぞろえの差別化戦略について理解する。
4. ディスプレイの種類と効果	売場で実践されているディスプレイの紹介を通じて、名称と効果を学び、商品や用途からディスプレイの提案ができることを目指す。
5. 季節商品とディスプレイの実査	季節に応じた商品計画、ディスプレイを店舗に赴き、買い物を通じて実査を行い、グループ発表により学んだ内容の理解を深める。
6. 販売促進の種類と効果	広告などの販売促進策の種類と効果を実例を通じて学び、販売促進の提案ができることを目指す。
7. 市場が変化する要因	これまでの市場変化の実例を紹介し、今後の日本において考えられる市場変化をグループワークを通じて考察する。
8. マーケティング①　4P分析	販売戦略の計画に必要な4P分析を企業での実践例から学び、ケーススタディを通して計画立案ができることを目指す。
9. マーケティング②　顧客満足と顧客管理	顧客満足と顧客管理を企業での実践例から学び、顧客育成に向けた差別化戦略をディスカッションし理解を深める。
10. 販売業務①　言葉遣いとマインド	接客時の声掛けとその実例、ホスピタリティを中心とした心構えを学び、接客技術に関する知識を深める。
11. 販売業務②　接客技術	模擬接客を実践し、対面販売で販売員に求められる基本的な所作振る舞い、セールステクニックを身につける。

評価方法

右の評価割合で総合的に判断する。

評価割合	
出席	30 %
授業貢献	20 %
期末試験	50 %
	%
	%

教科書・教材

各回にて資料を配布する。

学生へのメッセージ

小売業やサービス業は自社が顧客に選ばれるために、多くの手法を実践し日々営業をしています。
モノを売る、選ばれる店になるために販売員が知っておくべき知識や技術を学びます。

授業計画書

担当教員名: 佐野　義孝　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　1年次 フラワーコーディネートコース	植物病理学	後期	2 コマ (　　)	32 コマ (　　)
			備考 対面授業のみ実施	

授業のねらい

「植物病害」を理解し、その対策を講ずるためには、植物の病気の正確な診断、より適切な防除法の選択が重要である。そのために、1）植物の病気の診断の基礎知識を習得するとともに、2）病気の伝染環（病原菌の生活史）や、3）発生生態に関する理解が必須である。そこで、1）～3）に関する事項を理解することを授業の目標とする。

授業計画	
テーマ	内容・方法・達成目標
1　植物の病気とは？（1）植物の病気と人間の生活との関係 （2）植物の病気と原因，（3）発病までの過程，（4）病気の発生条件 2　菌類病（1）菌類とは，（2）変形菌類による病害 （3）鞭毛菌類による病害，（4）接合菌類による病害 （5）子のう菌類による病害 （6）担子菌類による病害 （7）不完全菌類による病害 3　細菌病（1）細菌とは，（2）細菌の種類と病害 （3）ファイトプラズマ病 4　ウイルス病（1）ウイルスとは，（2）ウイルスの種類と病害 （3）ウイルスの伝染方法 5　病原性と抵抗性（1）寄生性の分化，（2）病原性 （3）抵抗性 5　病害診断と防除方法（1）病害診断，（2）総合防除 （3）耕種的防除法，（4）物理的防除法， （5）生物的防除法，（6）化学的防除法	植物病理学は、植物の生育を阻害する要因の中で、病害を対象とし、その原因と経過を明らかにし、その防除法を研究する応用科学である。 本講義では、樹木の病害を例にして、病気の原因となる主要な伝染性病原（菌類、細菌、ウイルスなど）の生物学的・病原学的特性に理解を深め、発病と環境、伝染方法、病原性と抵抗性など、病害診断および防除の基礎について学ぶ。

評価方法	評価割合		
試験および授業態度による		試験	80 %
		レポート	%
		授業態度	20 %
		出席	%
			%

教科書・教材

随時プリントを配布する

学生へのメッセージ

土壌の構造や性質を理解することは、農業における土づくりの基本です。
大いに学んで、現場に役立ててください。

授業計画書

担当教員名: 秋山 正之　　計画書作成日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科 1年次 フラワーコーディネートコース	園芸福祉概論	前期	2 コマ ( )	32 コマ ( )
			備考 対面授業のみ実施	

福祉（ふくし、英: Welfare）とは、「しあわせ」や「ゆたかさ」を意味する。
植物を使い、社会に貢献し人々をしあわせにするにはどうしたらよいか、ディスカッションや実際に園芸福祉活動を行い考えていく。2月には初級園芸福祉士試験の合格をめざす。

授業計画

回	テーマ・内容	方法・達成目標
1	概論	園芸福祉とは何か、初級園芸福祉士試験の説明
2	歴史と今後	園芸福祉の始まりと今後の展開について
3	園芸福祉の活動とは①	園芸福祉活動の可能性について考える
4	園芸福祉の活動とは②	園芸福祉活動の可能性について考える
5	園芸福祉の効果、対象	誰にどのように園芸福祉を行い、どのような効果が得られるか考える
6	団体運営の実際	団体を運営していくには、HPなど参考にする
7	コミュニティー作り	地域コミュニティーで活動するにはどうしたらよいか、実例をあげ学ぶ
8	グリーンツーリズム・市民農園	植物を使いどのような仕事に展開できるかを考える
9	園芸福祉にかかわる植物	園芸福祉に使用される植物とは、効果、管理
10	園芸福祉活動の組織作り	組織活動に求められる人材について考える
11	スワンの里①	高齢者施設での園芸福祉実習を通じて高齢者とのコミュニケーションを学ぶ
12	スワンの里②	高齢者施設での園芸福祉実習を通じて高齢者とのコミュニケーションを学ぶ
13	園芸福祉現場見学：かとうふぁーむ	苗生産で園芸福祉を導入している現場を視察する
14	プログラム作り	グループでの園芸福祉活動プログラムを作成する
15	レポート、発表	園芸福祉活動プログラムを発表し、検討する
16	試験対策	初級園芸福祉士試験の対策

評価方法

課題作品の成績点数と出席及び受講態度を含め総合的に判断する。

評価割合		
出席	20	%
受講態度	30	%
レポート	50	%
		%
		%

教科書・教材

園芸福祉入門(創森社)

学生へのメッセージ

座学を中心に学習するが、園芸福祉施設や実習も行う。
実習を通して園芸福祉活動を運営する側について理解を深める。

授業計画書

担当教員名: 小山順子／丸山春江　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　2年次 フラワーコーディネートコース	いけばな	後期	4 コマ （　　）	32 コマ （　　）
			備考　対面授業のみ実施	

授業のねらい

歴史、流派、テクニック等　いけばなの基礎知識を学ぶ
生花店に勤めた際、いけばなに必要な花材を見極められるようになる

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	いけばなの歴史①	古代～南北朝時代、人々と花の関係（いけばなの源流）
2	いけばなの歴史②	室町時代　いけばなの成立した時代の背景と確立した理論
3	いけばなの歴史③	近代、現代のいけばな
4	小原流について	小原流の歴史、特徴について学ぶ
5	盛花	小原流　水盤にいける盛花を学ぶ（実技）
6	瓶花	小原流　花瓶にいける瓶花を学ぶ（実技）
7	未生流について	未生流の歴史、特徴について学ぶ
8	未生流の型	未生流の型を学ぶ（実技）
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		

評価方法

出席・課題・平常点（授業態度）、期末テストを総合的に評価

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題	10	%
期末試験	70	%
		%

教科書・教材

プリントを配布

学生へのメッセージ

いけばなの歴史、形の美しさから日本の文化の良さに気づき、それを日本国内外に発信できるようになりましょう

授業計画書

担当教員名: 北澤 道子　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科 2年次 フラワーコーディネートコース	フラワークラフト	後期	4 コマ ( )	32 コマ ( )
			備考 対面授業のみ実施	

授業のねらい

花育活動、フラワーデザイン教室をする際のクラフト技術や、教え方、段取りの仕方について
実際に山潟小学校フラワーアレンジメント教室に指導にいくことで学び、
将来教える側になった時のスキルを身に着ける

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	授業の概要・今後のイベントのスケジュールと内容決め	山潟小学校さんのクラブ活動のスケジュールに合わせ、内容を決める
2	山潟小学校フラワーアレンジメントクラブ 企画・試作①	翌週の山潟小学校さんのクラブ活動の企画を立て、試作、指導方法の確
3	山潟小学校フラワーアレンジメントクラブ 指導①	山潟小学校さんのクラブ活動指導に行く
4	山潟小学校フラワーアレンジメントクラブ 企画・試作②	翌週の山潟小学校さんのクラブ活動の企画を立て、試作、指導方法の確
5	山潟小学校フラワーアレンジメントクラブ 指導②	山潟小学校さんのクラブ活動指導に行く
6	山潟小学校フラワーアレンジメントクラブ 企画・試作③	翌週の山潟小学校さんのクラブ活動の企画を立て、試作、指導方法の確
7	山潟小学校フラワーアレンジメントクラブ 指導③	山潟小学校さんのクラブ活動指導に行く
8	山潟小学校フラワーアレンジメントクラブ 企画・試作④	翌週の山潟小学校さんのクラブ活動の企画を立て、試作、指導方法の確
9	山潟小学校フラワーアレンジメントクラブ 指導④	山潟小学校さんのクラブ活動指導に行く
10	山潟小学校フラワーアレンジメントクラブ 企画・試作⑤	翌週の山潟小学校さんのクラブ活動の企画を立て、試作、指導方法の確
11	山潟小学校フラワーアレンジメントクラブ 指導⑤	山潟小学校さんのクラブ活動指導に行く
12	山潟小学校フラワーアレンジメントクラブ 企画・試作⑥	翌週の山潟小学校さんのクラブ活動の企画を立て、試作、指導方法の確
13	山潟小学校フラワーアレンジメントクラブ 指導⑥	山潟小学校さんのクラブ活動指導に行く
14	山潟小学校フラワーアレンジメントクラブ 企画・試作⑦	翌週の山潟小学校さんのクラブ活動の企画を立て、試作、指導方法の確
15	山潟小学校フラワーアレンジメントクラブ 指導⑦	山潟小学校さんのクラブ活動指導に行く
16	まとめ	今までの活動全体を振り返り、将来にいかに活かすか考える

評価方法

出席・課題・平常点（授業態度）を総合的に評価

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題	80	%
期末試験		%
		%

教科書・教材

学生へのメッセージ

教える側で考えること、身に着ける技術は習うだけの時とまた違います。教える喜びを楽しみながら学びましょう

授業計画書

担当教員名: 齊藤　祐輔　　計画書作成日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　1年次 フラワーコーディネートコース	フラワーカラー	後期	2 コマ （　　）	32 コマ （　　）
			備考　対面授業のみ実施	

花の色や色彩学の基礎を学びフラワーカラー検定合格を目指す。また、カラーカードやパソコンを使い色を組み合わせる配色の実習を行う。

授業計画

回	テーマ・内容	方法・達成目標
1	花色基礎知識①	概論、色素、色相、明度、彩度
2	花色基礎知識②	CUS色相環、
3	花の色①	色と花の名前
4	花の色②	色と花の名前
5	インテリア、エクステリア	インテリア、エクステリアの色彩デザイン
6	ガーデニング	庭に植える植物の配色
7	色のイメージ	心理効果
8	実習①	配色実習
9	色彩学①	配色調和
10	色彩学②	対比現象、同化現象
11	日本の花の文化	色と花の歴史
12	実習②	配色実習
13	実習③	配色実習
14	検定対策①	フラワーカラー検定の過去問題　解説
15	検定対策②	フラワーカラー検定の過去問題　解説
16	検定対策③	フラワーカラー検定の過去問題　解説

評価方法

テストと出席及び受講態度を含め総合的に判断する。

評価割合		
出席	20	%
受講態度	30	%
期末テスト	50	%
		%
		%

教科書・教材

フラワーカラー検定テキスト、パソコンなど

学生へのメッセージ

植物、花だけではなく、インテリア、ファッションなど身の回りにある色彩配色について日ごろから注意して観察してみる。

授業計画書

担当教員名: 木下 聡子　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科 1年次 フラワーコーディネートコースス	フラワービジネス論	前期	3 コマ ( )	48 コマ ( )
			備考 対面授業のみ実施	

授業のねらい

これからのフラワー業界を担う人材に必要なフラワービジネスの基礎知識を取得する。
フラワービジネスの必要な基礎知識として、業界の仕組み、文化と歴史、販売に関する知識、
店舗演出及び商品知識を学ぶ

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	フラワー業界について	フラワー業界についてガイダンス
2	マーケティング知識①	マーケティングの専門用語など知識を身につける
3	マーケティング知識②	マーケティングの専門用語など知識を身につける
4	販売業務①	販売の業務内容を学ぶ
5	販売業務②	販売の業務内容を学ぶ
6	販売技術①	接客の知識、技術を身に着ける
7	販売技術②	接客の知識、技術を身に着ける
8	店舗演出①	販売促進につながる店の立地、構造、内装について学ぶ
9	店舗演出②	販売促進につながるディスプレイについて学ぶ
10	店舗演出③	販売促進につながるディスプレイについて学ぶ
11	店舗演出④	販売促進につながるPOPについて学ぶ
12	店舗演出⑤	販売促進につながるPOPについて学ぶ
13	商品知識①	フラワービジネスに関わる商品知識を身に着ける
14	商品知識②	フラワービジネスに関わる商品知識を身に着ける
15	商品知識③	フラワービジネスに関わる商品知識を身に着ける
16	花文化史・産業史	花にまつわる文化史、産業史について学ぶ

評価方法

出席、受講態度、課題、期末試験などで総合的に評価

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題レポート	30	%
期末試験	50	%
		%

教科書・教材

フローリスト検定対応講座テキスト　その他プリント

学生へのメッセージ

幅広い知識を身に着け、フラワー業界で活躍できる人材を目指しましょう

授業計画書

担当教員名: 齊藤　祐輔　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　1年次 フラワーコーディネートコース	ガーデンデザイン論	前期	2 コマ （　　）	32 コマ （　　）
			備考　対面授業のみ実施	

授業のねらい

植栽計画を立てられる
テーマ、コンセプトに合わせた樹種が選べる

授業計画		
	テーマ	内容・方法・達成目標
1	植物を知るpart1　分類・根のタイプ・品種のこと	全国造園コンクールの応募要項に合わせてガーデンデザインしその植栽の計画を立てる みどり香るまちづくり企画コンテストの応募企画に合わせた植栽を考える
2	植物を知るpart2　植物の生育環境 ～日向・日陰・半日陰～　植物が好きな土壌は？	
3	香りで楽しむ植物たち～樹木・草花～	
4	香りで楽しむ植物たち～グループワーク・発表～	
5	植栽計画を考える～植栽の機能と種類～	
6	植栽計画を考える～植物の生長量を配慮した計画～	
7	植栽計画を考える～植物の組み合わせ～	
8	植栽計画を考える～グループワーク・発表～	
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		

評価方法	評価割合	
出席数、授業態度、提出物から配点し、 総合判断で評価する		出席　%
		受講態度　%
		課題レポート　%
		期末試験　%
		%

教科書・教材

プリントを配布

学生へのメッセージ

自分でテーマを決めそのテーマにあわせた植物種を選んでガーデンデザインをする楽しさを感じていただきたいです

授業計画書

担当教員名: 北澤 道子　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科 1年次 フラワーコーディネートコース	栽培学	後期	2 コマ ( )	32 コマ ( )
			備考 対面授業のみ実施	

授業のねらい

園芸業界に勤めるにあたって必要な栽培の知識、技術を身につける
植物の生理をもとに園芸に必要な栽培（播種、灌水、光の管理、繁殖、病理、施肥）の知識を学ぶ

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	ガイダンス（園芸作業での大事なこと）	理論に基づいて栽培すると植物を上手に育てられる理由を学ぶ
2	播種について（発芽に必要な条件）	科学的根拠に基づいてうまく発芽させる方法を学ぶ
3	播種について（様々な播種の方法）	理論に基づいて効率よく発芽させ、利用する方法を学ぶ
4	光量管理について（光合成の仕組み）	上手に栽培するため光合成光合成のしくみを学ぶ
5	光量管理について（栽培場所について）	上手に栽培するため植物の光合成を効率よく働かせる方法を学ぶ
6	灌水管理について（光合成と呼吸）	上手に栽培するためにバランスの良い光合成と呼吸の管理方法を学ぶ
7	灌水管理について（露地とコンテナの違い）	露地栽培とコンテナ栽培の違いを学び、各栽培の管理方法を学ぶ
8	繁殖について（挿し木）	繁殖方法の挿し木について特徴と方法を学ぶ
9	繁殖につて（球根繁殖）	繁殖方法の球根繁殖について特徴と方法を学ぶ
10	繁殖について（有性生殖、遺伝について）	繁殖方法の有性生殖について特徴と方法を学ぶ
11	繁殖について（育種とは）	新しい品種を作る仕組み（育種）と農業での育種の必要性を学ぶ
12	病害について（病気とは）	植物の病気の種類とそのサイクルを学ぶ
13	病害について（病害と防除）	植物の病害とその防除方法を身近な例から学ぶ
14	生理障害について（養分の必要性）	非生物による植物の障害を学び、その改善法
15	施肥のしかたについて	園芸種により環境の生態系を乱す可能性があることを学び、向き合い方を学ぶ
16	まとめ	今までの学びをどう将来に活かすか考える

評価方法

出席・課題・平常点（授業態度）、期末試験を総合的に評価

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題	10	%
期末試験	70	%
		%

教科書・教材

プリントを配布

学生へのメッセージ

業界のプロになるにあたり、商品を販売するときに科学的根拠をもとにお客様へ説明できるようになりましょう。

授業計画書

担当教員名: 北澤 道子／他

印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科 2年次 フラワーコーディネートコース	セレモニーフラワー論	後期	2 コマ ( )	32 コマ ( )
			備考 対面授業のみ実施	

授業のねらい

主に生花店のセレモニー分野についての基礎知識を身に着ける
生花の基礎知識を学ぶ

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	ガイダンス（フラワー業界の仕事の分類、セレモニーについて、葬儀について）	フラワー業界が関係するセレモニーについて
2	葬儀について（文化、風習）	文化、風習の視点から葬儀について学ぶ
3	葬儀について（葬儀の流れ）	仏式を中心に葬儀の流れについて学ぶ
4	葬儀について（商品、業界のしくみ）	葬儀の商品と業界のしくみについて学ぶ
5	ブライダルの商品と業界のしくみ（内田先生）	ブライダルの商品と業界のしくみについて学ぶ
6	ブライダルのカウンセリングの仕方（内田先生）	式場と契約している場合のカウンセリングの仕方を学ぶ
7	ブライダルのカウンセリングの仕方（木下先生）	フリーでオーダーメイドの注文を受ける場合のカウンセリングの仕方を学ぶ
8	ブライダルのカウンセリングの仕方（木下先生）	フリーでオーダーメイドの注文を受ける場合のカウンセリングの仕方を学ぶ
9	葬儀について（壇上商品作り）①	葬儀祭壇の作り方を学ぶ（基礎）
10	葬儀について（壇上商品作り）②	葬儀祭壇の作り方を学ぶ（応用）
11	神道について	神道　神棚用の榊の組み方、玉串用の榊の選び方
12	ブライダル産業について（坂上先生）	海外のブライダル産業を学ぶ
13	ブライダル装花（デザイン）	ブライダル商品のデザインをする
14	ブライダル商品作り（木下先生）	デザインしたブライダル商品をつくる
15	ブライダル装花（デザイン）	ブライダル会場の装花をデザインする
16	まとめ	今まで学んだことから新商品の提案

評価方法

出席・課題・平常点（授業態度）、期末テストを総合的に評価

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題	10	%
期末試験	70	%
		%

教科書・教材

プリントを配布

学生へのメッセージ

セレモニーの重要さとその場面場面での花の関わりを学び、花で人々を祝福したり慰めたりする仕事のやりがいを感じ取ってください。

授業計画書

担当教員名: 北澤 道子／他

印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科 2年次 フラワーコーディネートコース	フラワーアレンジ概論	後期	2 コマ ( )	32 コマ ( )
			備考 対面授業のみ実施	

授業のねらい

フラワーデザインの構成理論を学び、自らデザインするときに理論が活かせるようになる

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	花の形を学ぶ①	キク科の花のデッサンをする
2	花の形を学ぶ②	バラ型の花をデッザンする
3	葉の形を学ぶ	葉のデッサンをする
4	植物の全体の姿を学ぶ	植物全体のデッサンをする
5	デザインの考え方	どこから考えていくか様々なパターンを学ぶ
6	花材の選び方	デザインにあう花材をどのような視点で選ぶか学ぶ
7	資材の選び方	デザインにあう資材をどのような視点で選ぶか学ぶ
8	デザインの大きさ、形	テーマに合うように大きさや形を決める方法を学ぶ
9	デザインの大きさ、形	テーマに合うように大きさや形を決める方法を学ぶ
10	デザインの色	テーマに合うように配色決める方法を学ぶ
11	フラワーデザインをする①	今までのまとめでフラワーデザインを一つ作る
12	フラワーデザインをする②	今までのまとめでフラワーデザインを一つ作る
13	モチーフを学ぶ	花をモチーフにインテリア小物をデザインする
14	ブーケをデザインする	技能五輪全国大会の課題でデザインを考える
15	花束をデザインする	技能五輪全国大会の課題でデザインを考える
16	テーブル装花をデザインする	技能五輪全国大会の課題でデザインを考える

評価方法

出席・課題・平常点（授業態度）を総合的に評価

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題	80	%
期末試験		%
		%

教科書・教材

フラワーデザイナーのための教科書

学生へのメッセージ

デザインするというと何から手をつけてよいかわかないと感じるかもしれませんが、理論がわかるとアプローチの仕方もわかりデザインすることが楽しくなります。フラワーデザインを楽しみましょう！

授業計画書

担当教員名: 秋山　正之　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　2年次 フラワーコーディネートコース	簿記	2年前期	2 コマ （　　）	32 コマ （　　）
			備考 対面授業のみ実施	

授業のねらい

《目的》
1. 仕訳、精算表の作成などの会計処理から、店舗運営に必要な会計知識の基礎を学ぶ。
2. 財務諸表を作成する目的から、経営管理の基本理論を学ぶ。
3. 初歩的な原価計算から、販売活動に必要な費用計算、値入れの方法を学ぶ。

授業計画

テーマ	内容・方法・達成目標
1. オリエンテーション、簿記の目的	簿記が経営判断の指標になることを、企業経営の実例から学ぶ。
2. 財務諸表の目的	貸借対照表、損益計算書の目的を理解し、作成演習を通じて企業経営における利益追求の重要性を学ぶ。
3. 仕訳と現金	借方、貸方の金額一致等、仕訳の原則を学び、現金勘定を使った仕訳を実践し、仕訳の基本原則を理解する。
4. 勘定科目の5大属性	仕訳における勘定科目と、科目の属性を財務諸表の記載箇所から学び、各属性の仕訳原則を理解する。
5. 売買仕訳	売上、仕入、掛の勘定科目を使用する仕訳を学び、基本的な売買仕訳ができることを目指す。
6. 売買関連の仕訳	小切手、手形取引に関する勘定科目を使用する仕訳を学び通常の売買仕訳ができることを目指す。
7. 売買以外の仕訳	固定資産売買、有価証券売買に関する仕訳を学び、上記勘定を含めた基本的な仕訳ができることを目指す。
8. 決算整理	決算整理仕訳に通じて、商品棚卸、減価償却の方法を学ぶ。
9. 精算表作成	8桁精算表を作成し、決算手続の一連を学ぶ。
10. 財務諸表分析	財務諸表から読み取れる企業の状態を事例から学び、健全な経営を維持することの重要性を理解する。
11. 原価計算	グループワークで店舗運営に必要な費用を考察しながら学び、値入計算ができることを目指す。
12. 損益分岐点	原価計算における変動費、固定費の違いを理解し、損益分岐点計算と目標売上高の計算ができることを目指す。
13. 簿記から学ぶ企業ルール	就職後に活用できる簿記知識や企業でのルールを提示し、授業全体の振り返りを行う。

評価方法

右の評価割合で総合的に判断する。

評価割合		
出席	30	%
授業貢献	20	%
期末試験	50	%
		%
		%

教科書・教材

各回にて資料を配布する。

学生へのメッセージ

会計を行っていない企業はありません。就職した際にも活用できる簿記知識を学びましょう。

授 業 計 画 書

担当教員名: 田村晃宏・北澤道子　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　1年次 フラワーコーディネートコース	基礎園芸実習	通年	4 コマ （　　）	96 コマ （　　）
			備考 講師実務経験 田村晃宏（常勤）…1年 太田農園　生産職 北澤道子（常勤）…6年2ヶ月 有限会社すずき生花店　販売職	

授業のねらい

緑化植物の植栽や育成・管理、また工作物の制作を通して園芸技術の基礎を体得する。またSDG's を達成するうえで、植物の担う役割を大切さを考える。

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	ガイダンス・ 畑の場所、道具の確認・耕うん、pH、EC、照度計測	実習圃場の土壌調査、耕うんなどポタジェ植栽の準備をする
2	土の種類・種だんごつくりと植栽	種だんごという播種方法を学ぶ
3	圃場の整地・ポタジェデザイン・播種・苗管理	ポタジェのデザインをし、播種からはじめ植栽する苗の準備をする
4	ポタジェ作り・苗植栽・管理	ポタジェに苗を植栽する
5	株を大きくする「ペチュニア切り戻し」 「大きくなることを考えたデザイン」	切り戻しにより文枝し大きくなる苗を管理し、株を大きくする技術を学ぶ
6	収穫と利用 ハーブの収穫・保存・利用「エッグポマンダー」	圃場のハーブを収穫し、エッグポマンダーを作るなど利用法を学ぶ
7	鉢の種類と選び方・鉢の装飾	園芸資材を自ら作り、園芸新商品、楽しみの可能性を探る
8	多肉植物の扱い方「繁殖の仕方」 観葉植物の扱い方「寄せ植え」	多肉植物、観葉植物の扱いを学ぶ
9	ハンギングバスケット・ト軽い土つくり 寄せ植え	用途に合わせての土地選び、配合を学ぶ。寄せ植えの仕方を学ぶ。
10	株分けの仕方　ラン、グズマニアの株分け 挿し木の仕方　バラなどの花木の挿し木	株分け、挿し木などの栄養繁殖の仕方を学ぶ
11	ポタジェ管理・収穫	育てたものの収穫方法、その後の管理を学ぶ
12	促成栽培・アイスチューリップ 鱗片培養・ユリ	温度管理による開花調整の仕方を学ぶ。鱗片培養の仕方を学ぶ。
13	秋冬のポタジェ作り・苗植栽・管理 発酵もみ殻たい肥作り	冬野菜の栽培方法を学ぶ
14	ABioチューリップ球根植え	チューリップの生産方法を学ぶ
15	冬の寄せ植え 大きくならないことを考えたデザイン	冬の植物の育ち方、それを考慮した寄せ植えを学ぶ
16	バラ・宿根草の管理 剪定・寒肥	花木、宿根草の冬への準備のための管理方法を学ぶ

評価方法

出席、受講態度、課題レポート（小テスト含む）などで総合的に評価

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題レポート	80	%
期末試験		%
		%

教科書・教材

プリント配布

学生へのメッセージ

耕うん、播種、収穫等園芸の基礎をしっかり学び、さらに新しい園芸の楽しみ方を模索し、プロへの準備をしましょう

授業計画書

担当教員名: 石山 浩

印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科 1年次 フラワーコーディネートコース	フラワーデザイン 実習	後期	2 コマ ( )	32 コマ ( )
			備考 対面授業のみ実施	

授業のねらい
植物への理解を深めフラワーデザインの基礎の取得する。
まねる力、発想力、花の扱い方の強化。
制作の目的・コンセプトを明確に決め時間を意識して取り組むことを身に着け、
花を無駄にしない利用方法（ワイヤリング、投げ入れ等）を学ぶ。

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	コンテスト出展 企画準備 デザイン立案 花祭発注	市場まつりのデザインコンテストを想定してデザイン立案
2	コンテスト出展 出展作品制作	市場まつりのデザインコンテストを想定して作品制作
3	葬儀 供花スタンド	葬儀の供花スタンドを作る
4	ハロウィンアレンジ 企画制作	ハロウィンをテーマにデザイン立案、作品制作
5	ハロウィンアレンジ 企画振り返り	ハロウィンをテーマに作った作品の振り返り
6	デザイン分解 フラワーデザインの構成原理	フラワーデザインの構成原理を学ぶ
7	デザイン分解 共同形態	デザインの構成原理をふまえて「共同形態」というデザインつくる
8	クリスマスアレンジ	クリスマスをテーマにアレンジをつくる
9	クリスマスアレンジ リース	クリスマスをテーマにリースをつくる
10	正月アレンジ	正月をテーマにアレンジをつくる
11	校内コンテスト 企画準備 デザイン立案	校内でフラワーデザインのコンテストをする。そのデザイン案を立案する。
12	校内コンテスト 企画準備 花材発注	校内でフラワーデザインのコンテストをする。その花材を考え発注する。
13	校内コンテスト 出展作品制作	校内でフラワーデザインのコンテストをする。その作品をつくる。
14	フラワーウェーブ デザインコンテスト デザイン立案	フラワーウェーブ デザインコンテスト出展を想定し、デザインを立案。
15	フラワーウェーブ デザインコンテスト デザイン立案	フラワーウェーブ デザインコンテスト出展を想定し、デザインを立案。
16	フラワーウェーブ デザインコンテスト デザイン立案	フラワーウェーブ デザインコンテスト出展を想定し、デザインを立案。

評価方法

出席・課題・平常点（授業態度）を総合的に評価

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題レポート	80	%
期末試験		%
		%

教科書・教材

フラワーデザイナーのための教科書

学生へのメッセージ

様々なフラワーデザインの形を学び、自分の引き出しを増やしましょう

授業計画書

担当教員名: 北澤 道子　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科 2年次 フラワーコーディネートコース	植物病理学実験	通年	2 コマ ( )	32 コマ ( )
			備考 対面授業のみ実施	

授業のねらい

植物の生育を阻害する要因の中で伝染性病害を取り上げて、その防除の基本となる診断方法を習得する。
またこの診断方法と植物病原菌の取り扱い方法を学ぶことにより病害防除、治療の基礎となる知識、技術を身につける。

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	ガイダンス・植物の病気とは 病徴を見つける	野外での病害観察、採集を通して健全な状態との違いを観察、診断
2	マツノザイセンチュウの抽出、観察	センチュウの採取、抽出方法、同定方法を学ぶ
3	病気の診断(圃場の作物診断) 発病状況、作付作物の来歴調査・病徴観察	野外での病害観察、採集を通して健全な状態との違いを観察、診断
4	病気の診断(圃場の作物診断) 調査結果から診断を出す	野外での病害観察、採集を通して健全な状態との違いを観察、診断
5	山の樹木の虫害・病害とその理由(観察)	野外での病害観察、採集を通して健全な状態との違いを観察、診断
6	山の菌類(腐生菌、共生菌観察)、地衣類 (観察)	野外での病害観察、採集を通して健全な状態との違いを観察、診断
7	病原であることの証明 罹病植物から病原体分離	病原菌の分離、培養、接種を行い病原であることの証明方法を学ぶ
8	病原であることの証明 病原体純粋培養	病原菌の分離、培養、接種を行い病原であることの証明方法を学ぶ
9	病原であることの証明 健全植物に接種、病徴再現	病原菌の分離、培養、接種を行い病原であることの証明方法を学ぶ
10	子嚢菌類、担子菌類による病害 (観察)	病原菌の分離、培養、接種を行い病原であることの証明方法を学ぶ
11	病原菌培養 培養条件の違いによる違い(温度条件)培養	違った環境条件下での病原菌増殖の違いから環境要因との関係を学ぶ
12	病原菌培養 培養条件の違いによる違い(温度条件)観察	違った環境条件下での病原菌増殖の違いから環境要因との関係を学ぶ
13	街中の樹木の虫害、病害(監察)	野外での病害観察、採集を通して健全な状態との違いを観察、診断
14	街中の樹木の病害(罹病植物採取) 罹病植物から病原分離・培養	病原菌の分離、培養、接種を行い病原であることの証明方法を学ぶ
15	街中の樹木の病害 調査結果からの診断・病理学実験まとめ	実験結果、調査結果からの考察
16	病理学実験まとめ	実験結果、調査結果からの考察

評価方法

出席、受講態度、課題レポートなどで総合的に評価

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題レポート	80	%
期末試験		%
		%

教科書・教材

プリント配布

学生へのメッセージ

相手が病原と植物以外というのが植物病理学の面白いところです。
いろいろな実験を通して病原の菌、虫を知り、その結果植物をより知れる楽しみを味わいましょう。

授業計画書

担当教員名: 北澤 道子　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科 2年次 フラワーコーディネートコース	植物育成管理学実習	前期	4 コマ ( )	64 コマ ( )
			備考 対面授業のみ実施	

授業のねらい

植物の育成管理に必要な知識を身につける。
特に観葉植物や花卉、樹木について中心的に行い、
病害虫や生育阻害要因について学習する。

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	土の再生	廃土を消毒、再利用することで、土壌の改良について学ぶ
2	樹木育成管理、花苗育成	半年間管理する花木を選定し、管理計画を立て管理する
3	宿根草ガーデン管理	宿根草の植え替えをし宿根草ガーデンを作る
4	宿根草ガーデン管理	宿根草ガーデンの花摘み、病害虫防除、追肥をする
5	宿根草ガーデン管理	宿根草ガーデンの病害、生理障害等同定し、治療する
6	バラの育成管理方法を学ぶ	越後丘陵公園　香りのバラ園見学
7	植物園の役割を学ぶ	県立植物園見学実習
8	植物園の植物の育成管理	県立植物園作業実習
9	樹木育成管理	担当の花木の生長、病害を観察し、適切な管理をする
10	宿根草ガーデン管理	宿根草ガーデンの管理をする
11	樹木育成管理	担当花木の観察、管理をする
12	宿根草ガーデン管理	現在の状況を把握し、秋、冬に向けての管理を計画する
13	樹木育成管理	担当花木の観察、管理をする
14	樹木育成管理	担当花木の観察、管理をする
15	宿根草ガーデン管理のまとめ	来年度に向け、より良いガーデンデザインを考え、改良案を提案する
16	樹木育成管理のまとめ	担当の花木の生長、病害についてまとめ、今後の作業計画を立てる

評価方法

出席、受講態度、課題レポート（小テスト含む）などで総合的に評価

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題レポート	80	%
期末試験		%
		%

教科書・教材

プリント配布

学生へのメッセージ

自分で計画を立て、花木、宿根草の管理をすると本を読むだけの時には見逃した気づきがたくさんあると思います。
たくさんでてくる気づきを楽しんでください。

授 業 計 画 書

担当教員名: 齊藤　祐輔　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　2年次 フラワーコーディネートコース	ガーデニング実習Ⅱ	前期	3 コマ （　　）	48 コマ （　　）
			備考　対面授業のみ実施	

授業のねらい

実際に多くの植物や土に触れる。
植栽デザイン、段取り、施工、その後の維持管理までを実践的に学び、即戦力として就職できるよう力をつける。

授業計画

テーマ	内容・方法・達成目標
①　学校前花壇の植栽(初夏の植栽) ②	宿根草と一年草の違い、デザインのコツについて学ぶ。 予算に応じた平面図作成と数量算出。
③　駅南ロータリープランター植栽(初夏の植栽) ④	植物の選定とデザイン 数量算出を行い植物の手配方法を学ぶ
⑤　夏のガーデンメンテ ⑥	夏越しに必要な管理を学ぶ。 各現場での実践。
⑦　みどり香るまちづくり企画コンテスト植栽（＠奥レク浦佐） ⑧	企画内容を把握し、現地での位置出し,植栽。
⑨　ショーガーデンを造る ⑩　（＠聖籠・島見緑地） ⑪ ⑫ ⑬ ⑭	プランの立て方、プレゼンを学ぶ。 植栽時期に適した植物の選定、施工に向けての準備。 現場での施工。
⑮　**火山岩で鉢づくり・寄せ植え**	火山岩を削って加工し鉢をつくり、そこに寄せ植えをする
⑯　**冬囲い**	

評価方法

受講態度に積極性がみられるか、
納期までに課題を提出できたかを主な評価基準として判断する。

評価割合		
出席	20	%
受講態度	40	%
課題	40	%
		%
		%

教科書・教材

学生へのメッセージ

ガーデニング実習は、現場での実践的な内容がほとんどです。植物に関わり現場で仕事をすることは、スピードと確実性が求められます。その中で、表現者であることを意識し、共に頑張りましょう！

授業計画書

担当教員名: 内山　恵美子　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　1年次 フラワーコーディネートコース	環境デザイン実習Ⅰ	前期	3 コマ (　　)	48 コマ (　　)
			備考 対面授業のみ実施 講師実務経験 内山恵美子(非常勤)…10年6ヶ月 株式会社レック三和　商品開発職	

授業のねらい

ガーデンデザインができる
平面図、立面図、1点透視図が描ける。
「みどり香るまちづくり企画コンテスト」「全国造園コンクール」の応募を目指す

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	基本的な線の描き方	基本的な線の描き方を学ぶ
2	デッサン、平面図の描き方①	平面図の描き方を学ぶ
3	デッサン、平面図の描き方②	平面図の描き方を学ぶ
4	デッサン、立面図の描き方①	立面図の描き方を学ぶ
5	デッサン、立面図の描き方②	立面図の描き方を学ぶ
6	1点透視図の描き方	1点透視図の描き方を学ぶ
7	1点透視図(並木道)着彩	透視図の着彩の仕方を学ぶ
8	1点透視図(街並み)着彩①	透視図の着彩の仕方を学ぶ
9	1点透視図(街並み)着彩②	透視図の着彩の仕方を学ぶ
10	全国造園デザインコンクール	造園コンクール出展に向けて企画をたてる
11	全国造園デザインコンクール	造園コンクール出展に向けて企画をたてる
12	全国造園デザインコンクール	造園コンクール出展に向けてデザインする
13	全国造園デザインコンクール	造園コンクール出展に向けてデザインする
14	みどり香るまちづくり企画コンテスト	みどり香るまちづくり企画コンテスト出展に向けて企画をたてる
15	みどり香るまちづくり企画コンテスト	みどり香るまちづくり企画コンテスト出展に向けて企画をたてる
16	みどり香るまちづくり企画コンテスト	みどり香るまちづくり企画コンテスト出展に向けて企画をたてる

評価方法

出席数、授業態度、提出物から配点し、
総合判断で評価する

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
提出物	80	%
期末試験		%
		%

教科書・教材

プリントを配布

学生へのメッセージ

授 業 計 画 書

担当教員名: 齊藤　祐輔　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　1年次 フラワーコーディネートコース	環境デザイン実習Ⅰ	後期	3 コマ (　　)	48 コマ (　　)
			備考 対面授業のみ実施 講師実務経験 齊藤祐輔(常勤)…11年6ヶ月 牛歩園緑化株式会社　造園施工職	

授業のねらい

公園管理、個人や法人の庭管理の実務から、自然環境、都市環境での人と自然が調和する環境のデザインの基礎を学ぶ

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	いくとぴあ食花①	冬のバラの管理①
2	いくとぴあ食花②	冬のバラの管理②
3	いくとぴあ食花③	冬のバラの管理③
4	ふるさと村①	花壇のダリアの管理
5	ふるさと村②	次年度の花壇計画
6	島見緑地①	冬の公園管理
7	個人宅庭園管理①	施主の希望と環境に沿ったガーデンデザイン・企画
8	個人宅庭園管理②	施主の希望と環境に沿ったガーデンデザイン・施工
9	個人宅庭園管理③	施主の希望と環境に沿ったガーデンデザイン・施工
10	個人宅庭園管理④	施主の希望と環境に沿ったガーデンデザイン・施工
11	室内園芸装飾	室内園芸装飾の技術を身に着ける
12	室内園芸装飾	室内園芸装飾の技術を身に着ける
13	室内園芸装飾	室内園芸装飾の技術を身に着ける
14	盆栽管理①	盆栽からその背景の自然や風景を感じることを学ぶ
15	盆栽管理②	盆栽の管理法を学ぶ
16	盆栽管理③	盆栽の管理法を学ぶ

評価方法

出席数、授業態度、提出物から配点し、
総合判断で評価する

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
提出物	80	%
期末試験		%
		%

教科書・教材

プリントを配布

学生へのメッセージ

人と自然が調和する環境のデザインを学ぶにはまず自然を知ること。出会った植物、環境に興味をもってください。

授業計画書

担当教員名: 齊藤　祐輔　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　2年次 フラワーコーディネートコース	ガーデニング実習Ⅱ	前期	3 コマ （　　）	48 コマ （　　）
			備考　対面授業のみ実施	

授業のねらい

実際に多くの植物や土に触れる。
植栽デザイン、段取り、施工、その後の維持管理までを実践的に学び、即戦力として就職できるよう力をつける。

授業計画

テーマ	内容・方法・達成目標
①　学校前花壇の植栽(初夏の植栽) ②	宿根草と一年草の違い、デザインのコツについて学ぶ。 予算に応じた平面図作成と数量算出。
③　駅南ロータリープランター植栽(初夏の植栽) ④	植物の選定とデザイン 数量算出を行い植物の手配方法を学ぶ
⑤　夏のガーデンメンテ ⑥	夏越しに必要な管理を学ぶ。 各現場での実践。
⑦　みどり香るまちづくり企画コンテスト植栽（@奥レク浦佐） ⑧	企画内容を把握し、現地での位置出し,植栽。
⑨　ショーガーデンを造る ⑩　（@聖籠・島見緑地） ⑪ ⑫ ⑬ ⑭	プランの立て方、プレゼンを学ぶ。 植栽時期に適した植物の選定、施工に向けての準備。 現場での施工。
⑮　**火山岩で鉢づくり・寄せ植え**	火山岩を削って加工し鉢をつくり、そこに寄せ植えをする
⑯　**冬囲い**	

評価方法

受講態度に積極性がみられるか、
納期までに課題を提出できたかを主な評価基準として判断する。

評価割合		
出席	20	%
受講態度	40	%
課題	40	%
		%
		%

教科書・教材

学生へのメッセージ

ガーデニング実習は、現場での実践的な内容がほとんどです。植物に関わり現場で仕事をすることは、スピードと確実性が求められます。その中で、表現者であることを意識し、共に頑張りましょう！

授業計画書

担当教員名: 石山 浩

印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科 1年次 フラワーコーディネートコース	フラワーコーディネート 実習Ⅰ	前期	4 コマ ( )	64 コマ ( )
			備考 対面授業のみ実施 講師実務経験 石山浩（非常勤）…12年 フラワーショップ「Musubi屋」経営	

授業のねらい
植物への理解を深め現場での即戦力としての技術・心がまえの習得
・フローリスト検定4級レベルの取得
・コンセプトを明確に決め時間を意識して取り組むことを目指す

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	リボンワーク、テーピング	リボンワーク、テーピングを学ぶ
2	鉢ラッピング（花鉢）	鉢のラッピングの仕方を学ぶ
3	カジュアルフラワー	簡単な花束とラッピングを学ぶ
4	ワイヤリング・コサージ	コサージ作りに必要なワイヤリングを学ぶ
5	仏花	仏花の作り方を学ぶ
6	籠アレンジ （トライアンギュラー）	トライアンギュラーの形のアレンジメントの作り方を学ぶ
7	ギフト用アレンジ	三方見のアレンジメントの作り方を学ぶ
8	ギフト用花束	ギフトの用途の花束の作り方を学ぶ
9	テーブル装花	結婚式ゲストテーブルの装花を学ぶ
10	ワイヤリング・コサージ	コサージ作りに必要なワイヤリングを学ぶ
11	ブーケ （ホルダー）	ホルダーを使ったラウンドブーケの作り方を学ぶ
12	仏花 写真撮影	フローリスト検定4級の内容で仏花を作り、写真撮影をする
13	ギフト用アレンジ 写真撮影	フローリスト検定5級の内容でギフトアレンジを作り、写真撮影をする
14	花束（ワンサイド）	ワンサイドタイプの花束の作り方を学ぶ
15	ドライフラワーアレンジ	ドライフラワーの扱い方を学びアレンジメントを作る
16		

評価方法

出席・課題・平常点（授業態度）を総合的に評価

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題レポート	80	%
期末試験		%
		%

教科書・教材

フラワーデザイナーのための教科書
フローリスト検定対応講座テキスト

学生へのメッセージ

挨拶、掃除、時間を意識して習うではなく、学ぶ姿勢で取り組んでほしい

授 業 計 画 書

担当教員名: 北澤　道子・他外部講師

印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　1年次 フラワーコーディネートコース	園芸総合実習Ⅰ	前期	4 コマ （　　）	64 コマ （　　）
			備考　対面授業のみ実施	

授業のねらい

フラワー装飾3級合格を目指す
そのための技術、知識を身に着ける

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	フラワー装飾3級の練習	フラワー装飾3級の課題を練習する
2	フラワー装飾3級の練習	フラワー装飾3級の課題を練習する
3	フラワー装飾3級の練習	フラワー装飾3級の課題を練習する
4	フラワー装飾3級の練習	フラワー装飾3級の課題を練習する
5	フラワー装飾3級の練習	フラワー装飾3級の課題を練習する
6	フラワー装飾3級の練習	フラワー装飾3級の課題を練習する
7	フラワー装飾3級の練習	フラワー装飾3級の課題を練習する
8	フラワー装飾3級の練習	フラワー装飾3級の課題を練習する
9	フラワー装飾3級の練習	フラワー装飾3級の課題を練習する
10	フラワー装飾3級の練習	フラワー装飾3級の課題を練習する
11	フラワー装飾3級の練習	フラワー装飾3級の課題を練習する
12	フラワー装飾3級の練習	フラワー装飾3級の課題を練習する
13	フラワー装飾3級の練習	フラワー装飾3級の課題を練習する
14	フラワー装飾3級の練習	フラワー装飾3級の課題を練習する
15	フラワー装飾3級の練習	フラワー装飾3級の課題を練習する
16	フラワー装飾3級の練習	フラワー装飾3級の課題を練習する

評価方法

出席・課題・平常点（授業態度）を総合的に評価

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題	80	%
期末試験		%
		%

教科書・教材

学生へのメッセージ

最初の難関ですが、フローリストになるための大事なステップ、フラワー装飾3級合格目指して一緒にがんばりましょう！

授 業 計 画 書

担当教員名: 北澤　道子・他外部講師

印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　1年次 フラワーコーディネートコース	園芸総合実習Ⅰ	後期	4 コマ （　　）	64 コマ （　　）
			備考　対面授業のみ実施	

授業のねらい

イベントがある場合のイベント準備が自主的にできる
フラワーデザインの高度な技術を身につける
来年度受験に向けてフラワー装飾2級の練習に取り組む

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	イベント準備	イベント準備
2	イベント準備	イベント準備
3	イベント準備	イベント準備
4	イベント準備	イベント準備
5	イベント準備	イベント準備
6	フラワーデザインの技術①	枝を組むデザインを学ぶ
7	フラワーデザインの技術②	紐を巻くデザインを学ぶ
8	フラワーデザインの技術③	紙や布を張るデザインを学ぶ
9	フラワーデザインの技術④	新しい資材を使ったデザインを学ぶ
10	フラワー装飾2級の練習	フラワー装飾2級の課題を練習する
11	フラワー装飾2級の練習	フラワー装飾2級の課題を練習する
12	フラワー装飾2級の練習	フラワー装飾2級の課題を練習する
13	フラワー装飾2級の練習	フラワー装飾2級の課題を練習する
14	フラワー装飾2級の練習	フラワー装飾2級の課題を練習する
15	フラワー装飾2級の練習	フラワー装飾2級の課題を練習する
16	フラワー装飾2級の練習	フラワー装飾2級の課題を練習する

評価方法

出席・課題・平常点（授業態度）を総合的に評価

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題	80	%
期末試験		%
		%

教科書・教材

学生へのメッセージ

新しいデザインや技術を編み出せるように、受け身で技術を学ぶだけでなく常に能動的にアイデアを考えながら学びましょう

授 業 計 画 書

担当教員名: 北澤　道子・他外部講師

印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　2年次 フラワーコーディネートコース	園芸総合実習Ⅱ	後期	4 コマ （　　）	64 コマ （　　）
			備考　対面授業のみ実施	

授業のねらい

フラワー装飾2級合格を目指す
そのための技術、知識を身に着ける

授業計画		
	テーマ	内容・方法・達成目標
1	フラワー装飾2級の練習	フラワー装飾2級の課題を練習する
2	フラワー装飾2級の練習	フラワー装飾2級の課題を練習する
3	フラワー装飾2級の練習	フラワー装飾2級の課題を練習する
4	フラワー装飾2級の練習	フラワー装飾2級の課題を練習する
5	フラワー装飾2級の練習	フラワー装飾2級の課題を練習する
6	フラワー装飾2級の練習	フラワー装飾2級の課題を練習する
7	フラワー装飾2級の練習	フラワー装飾2級の課題を練習する
8	フラワー装飾2級の練習	フラワー装飾2級の課題を練習する
9	フラワー装飾2級の練習	フラワー装飾2級の課題を練習する
10	フラワー装飾2級の練習	フラワー装飾2級の課題を練習する
11	フラワー装飾2級の練習	フラワー装飾2級の課題を練習する
12	フラワー装飾2級の練習	フラワー装飾2級の課題を練習する
13	フラワー装飾2級の練習	フラワー装飾2級の課題を練習する
14	フラワー装飾2級の練習	フラワー装飾2級の課題を練習する
15	フラワー装飾2級の練習	フラワー装飾2級の課題を練習する
16	フラワー装飾2級の練習	フラワー装飾2級の課題を練習する

評価方法

出席・課題・平常点（授業態度）を総合的に評価

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題	80	%
期末試験		%
		%

教科書・教材

学生へのメッセージ

フラワー装飾2級は難しい検定ですが、合格目指し一緒に練習を頑張りましょう！

授業計画書

担当教員名: 北澤　道子・他外部講師　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　2年次 フラワーコーディネートコース	園芸総合実習Ⅱ	後期	4 コマ （　　）	64 コマ （　　）
			備考　対面授業のみ実施	

授業のねらい

イベントがある場合のイベント準備が自主的にできる
フラワーデザインの高度な技術を身につける
卒業制作を作ることにより、自らデザイン、材料の調達、作品制作、そのための段取りができるようになる

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	イベント準備	イベント準備
2	フラワーデザインの技術①	枝を組むデザインを学ぶ
3	フラワーデザインの技術②	紐を巻くデザインを学ぶ
4	フラワーデザインの技術③	紙や布を張るデザインを学ぶ
5	フラワーデザインの技術④	新しい資材を使ったデザインを学ぶ
6	卒業制作①	卒業制作のデザインをする
7	卒業制作②	卒業制作のデザインをする
8	卒業制作③	卒業制作のデザインをする
9	卒業制作④	卒業制作の試作をする
10	卒業制作⑤	卒業制作の試作をする
11	卒業制作⑥	卒業制作の作品を作る
12	卒業制作①	卒業制作の作品を作る
13	卒業制作①	卒業制作の作品を作る
14	卒業制作①	卒業制作の作品を作る
15	卒業制作①	卒業制作の作品を作る
16	卒業制作①	卒業制作の作品を作る

評価方法

出席・課題・平常点（授業態度）を総合的に評価

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題	80	%
期末試験		%
		%

教科書・教材

学生へのメッセージ

卒業制作は今まで学んだことの集大成です。今持っている知識技術をふんだんに盛り込んで作りましょう

授業計画書

担当教員名: 北澤　道子　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　2年次 フラワーコーディネートコース	ゼミナール	通年	3 コマ （　　）	96 コマ （　　）
			備考 対面授業のみ実施	

授業のねらい

園芸業界について理解を深めること、業界で働いていく上でのプレゼンテーション力、コミュニケーション力をつけることを目標とし、それぞれのテクニックを学びながら、業界について研究する。
またABioチューリップ関連の商品開発を検討し6次産業について学ぶ。
テーマごとの調査、研究結果を身に着けたスキルで卒業研究発表をする

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	6次産業　ABioチューリップ企画たて	ABioチューリップの商品開発についてディスカッションし、企画をたて今後の計画を話し合う。ディスカッションの技法を学ぶ。
2	6次産業　ABioチューリップ商品作り	計画立てた商品の試作をする
3	6次産業ABioチューリップ商品プレゼン	開発した商品を売り込む企画をたて発表する。 プレゼンテーションの技法を学ぶ
4	環境への業界の関わり（ディベート）	現在の園芸業界の課題をディベートという形で話し合う。 ディベートの仕方を学ぶ。
5	海外の園芸情報（英文和訳）	海外の園芸雑誌を訳し、海外の情報をキャッチする。
6	海外の園芸情報（プレゼンテーション）	雑誌から得た海外の情報をプレゼンテーションし、他の人と情報共有する
7	卒業研究発表準備	卒業研究内容を決め、研究する
8	卒業研究発表	研究内容を発表する

評価方法

出席、受講態度、研究発表内容などで総合的に評価

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
研究発表内容	80	%
期末試験		%
		%

教科書・教材

プリント配布

学生へのメッセージ

業界に、新しい生活スタイルに合った商品の提案ができるように、様々なことに興味をもって取り組んでください

授業計画書

担当教員名: 江縫 和美　北澤 道子

印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科 2年次 フラワーコーディネートコース	フラワーコーディネート 実習Ⅱ	前期	3 コマ ( )	48 コマ ( )
			備考 対面授業のみ実施	

授業のねらい

実習を通して現場での即戦力（現場力）としての技術・意識を養う。
商品として制作、明確な目的・コンセプトを決め取り組む。
植物素材を使い、作品で自己表現する。

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	フラワーデザイン理論、ラッピング	フラワーデザインの理論を学ぶ・鉢のラッピングを学ぶ
2	ギフト花束	ギフト花束
3	ギフトアレンジ	ギフトアレンジ
4	デザイン・デッサン講義	デッサンの仕方を学ぶ
5	ギフト花束（大）	5000円相当の大きなギフト花束を作る
6	ギフト花束（ラウンド）	丈の短いラウンドタイプのギフト花束を作る
7	ギフトアレンジ（大）	5000円相当の大きなギフトアレンジを作る
8	ギフトアレンジ	前回の花材を再使用し違う形のギフトアレンジを作る
9	枕花	トライアンギュラーの形で枕花を作る
10	クラッチブーケ	ナチュラルステムのクラッチブーケを作る
11	ラウンドブーケ	ブーケホルダーをつかうラウンドブーケを作る
12	ラウンドブーケ	前回の花材に新しく花材追加しラウンドブーケを作る
13	キャスケードブーケ	キャスケードブーケを作る
14	キャスケードブーケ	前回の花材に新しく花材追加しキャスケードブーケを作る
15		
16		

評価方法

出席・課題・平常点（授業態度）を総合的に評価

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題	80	%
期末試験		%
		%

教科書・教材

フラワーデザイナーのための教科書
フローリスト検定対応講座テキスト

学生へのメッセージ

この授業は生花店の商品を学ぶ授業です。将来に活かせるように技術をしっかり身に着けましょう。

授業計画書

担当教員名: 北澤 道子／他

印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科 2年次 フラワーコーディネートコース	フラワーコーディネート 実習Ⅱ	後期	3 コマ ( )	48 コマ ( )
			備考 対面授業のみ実施	

授業のねらい

実習を通して現場での即戦力（現場力）としての技術・意識を養う。
商品として制作、明確な目的・コンセプトを決め取り組む。
植物素材を使い、作品で自己表現する。

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	コンテスト出展作品 デザイン	コンテスト出展作品をデザインする
2	コンテスト出展作品 ベース制作	コンテスト出展作品のベースを作る
3	コンテスト出展作品 作品制作	コンテスト出展作品を作る
4	植生的	植生的なデザインの生け方を学ぶ
5	テーマから ハロウィン	ハロウィンをテーマに自分でデザインをし作品を作る
6	テクスチャーの違い 構造的	様々なテクスチャーの花材を使い構造的なデザインの生け方を学ぶ
7	テーマから 秋	秋をテーマに自分でデザインをし作品を作る
8	アートフラワーの扱い	アートフラワーでワイヤリング、テーピングを学ぶ
9	ワイヤリングブーケ	ワイヤリングした造花でキャスケードブーケを作る
10	御祝スタンド①	御祝スタンド1段を作る
11	御祝スタンド②	形を横長にして御祝スタンド1段を作る
12	静止と動き	止まって感じる花材と動きのある花材を組み合わ静止と動きについて学ぶ
13	テーマから クリスマス	クリスマスをテーマに自分でデザインをし作品を作る
14	テーマから お正月	お正月をテーマに自分でデザインをし作品を作る
15	円錐形の花束	パラレルで円錐形の花束を作る
16	フラワーデザインデモンストレーション鑑賞	プロのデザイナーのフラワーデザインを鑑賞しデザイン、テクニックを学ぶ

評価方法

出席・課題・平常点（授業態度）を総合的に評価

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題	80	%
期末試験		%
		%

教科書・教材

フラワーデザイナーのための教科書
フローリスト検定対応講座テキスト

学生へのメッセージ

感性と技術を磨き、オケージョンに合わせたフラワーデザインを企画しデザインできるようになりましょう

授業計画書

担当教員名: 北澤 道子／他

印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科 2年次 フラワーコーディネートコース	プロジェクト実習	通年	3 コマ ( )	96 コマ ( )
			備考 対面授業のみ実施	

授業のねらい

街や森林の生態系を学びながら、自然からインスピレーションを受け作品にいかすことを学ぶ

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	ガイダンス(生態系関連の専門用語解説)	生態系の専門用語を学ぶ
2	医療福祉大の林の再生計画 計画の立て方	林を望む状態に再生するために必要な調査の計画を立てる
3	医療福祉の・林鳥類調査 ルートセンサス、ポイントセンサス	鳥類調査の方法を学び、夏の林の鳥類調査をする
4	医療福祉大の林 植生調査 林の植物収集、コドラート法での植生調査	コドラート法を学び、夏の林の植生調査をする
5	学校周辺の幹線道路、住宅街での、初夏の植生・病害・ 昆虫、鳥類観察(ルートセンサス)	学校周辺を歩きながらそこでの動植物を観察する
6	雪国植物園見学(新潟の里山の植生)	新潟の里山の植生を学ぶ
7	県立科学館見学(新潟の里山の動物)	新潟の里山の動物を学ぶ
8	医療福祉大の林 林の再生計画まとめ	林の調査結果をまとめ、考察する
9	山の木の病害、獣害をみる	中之沢渓谷森林公園を実習地とし、山の樹木の病害、獣害、 人害を観察。
10	樹木の治療法を学ぶ 高森大ケヤキの治療	新潟県の天然記念物 新潟市北区高森の大ケヤキの 診断方法、治療方法を学ぶ。
11	冬の木の紅葉、落葉、冬芽をみる 菌類をみる 不適地への植樹の影響をみる	中之沢渓谷森林公園を実習地とし、樹木の紅葉、落葉、冬芽、 腐生菌、共生菌などの菌類を観察。
12	鳥屋野潟ソメイヨシノの診断	鳥屋野潟周辺のソメイヨシノを題材に病害、人害を観察。
13	冬山の樹木をみる 樹木の寒さへの対応、メイプルシロップ作り	中之沢渓谷森林公園を実習地とし、冬芽など冬の樹木の様子を観察。 冬の樹木寒さへの対応を学び、メイプルシロップをとる
14	植物図鑑づくり	今までの知識を使いABio植物図鑑を作る
15	フラワーデザイン	今までの知識、経験を使いフラワーデザインコンテスト用のデザインを考える
16	フラワーデザイン	考えたデザインオン土台を作る

評価方法

出席・課題・平常点(授業態度)を総合的に評価

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題	80	%
期末試験		%
		%

教科書・教材

学生へのメッセージ

山や街の自然環境に興味を持ち、将来の仕事に活かしましょう

授業計画書

担当教員名: 秋山正之　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　1年次 フラワーコーディネートコース	就職実務	前期	2 コマ （　　）	32 コマ （　　）
			備考 対面授業と遠隔授業の併用実施	

授業のねらい

《人間力育成》 1. 社会人の基本言動「挨拶」「敬語での会話」を自ら率先し、習慣となることを目指す。
2. 社会人に必要なコミュニケーションスキルを身につけ実践できることを目指す。
《学びの根》 レポートの記述、基礎計算力を習得し、専門知識学習の土台となる基礎学力を身につける。
《ABioゼミ》 業界人の講演を聴き、働き方や業界就職など自己の将来像を描く参考にする。（月１回程度実施）

授業計画

テーマ	内容・方法・達成目標
《人間力育成》 1. イントロダクション、挨拶、正しい分離礼の実践	挨拶の習慣化に向けた動機づけを行う。面接で求められる分離礼を体得し、授業前後の挨拶で実践で習慣化を目指す。
2. 敬語の種類	尊敬語、謙譲語の特性を理解し、ケーススタディを通して普通語から尊敬語、謙譲語へ変換できることを目指す。
3. 受け手を意識した書き方、聞き方、話し方	5W1H、固有名詞や数字を使った会話をケーススタディを通じて学び、相手に内容が伝わるメモ書き、会話の実践を目指す。
4. コミュニケーション①　来客応対 5. コミュニケーション②　電話応対 6. コミュニケーション③　チームワーク	企業内で求められる応対時の会話、上司同僚への話し方をケーススタディを通じて学び、これらの実践に必要な知識と基礎的なスキルの習得を目指す。
7. コミュニケーション検定　答案練習	前期学習の振り返りとして、コミュニケーション検定初級の過去問題演習を行い、検定試験の合格を目指す。、
《学びの根》 1. ノートのまとめ方	授業内容の理解促進に向けた、効率的かつ分かりやすいノートのまとめ方を学習し、実践できることを目指す。
2. 基礎計算演習	専門知識の学習に必要な計算力の習得に向け、習熟度別でクラスを分け、クラスごとの到達点に向けた計算演習を実践する。
3. レポートの書き方	各科目で提出を求められるレポートの基本的なルールや書き方を学習し、実践できることを目指す。
《ABioゼミ》 業界人講演	業界人の講演を聴き、働き方や業界就職など自己の将来像を描く参考にする。

評価方法	評価割合		
右の評価割合で総合的に判断する。		出席	70 %
		授業貢献	30 %
			%
			%

教科書・教材

コミュニケーション検定　初級　公式ガイドブック

学生へのメッセージ

本実習では、学生自ら栽培品目の決定・栽培計画・作業・販売計画を一貫して行います。教員はアドバイスはしますが「指示」は出しません。実際の農家が行うことを学生のうちから経験することによって、自ら考え創り出す農業を実践していきます。すべては、学生自身の熱意とヤル気です。これまでの基礎をもとにしっかり取り組みましょう。

授業計画書

担当教員名: 秋山正之　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　1年次 フラワーコーディネートコース	就職実務	1年後期	2 コマ （　　）	32 コマ （　　）
			備考 対面授業と遠隔授業の併用実施	

授業のねらい

《人間力育成》 1. 社会人の基本言動「挨拶」「敬語での会話」を自ら率先し、習慣となることを目指す。
2. 社会人に必要なコミュニケーションスキルを身につけ実践できることを目指す。
《学びの根》 レポートの記述、基礎計算力を習得し、専門知識学習の土台となる基礎学力を身につける。
《ABioゼミ》 業界人の講演を聴き、働き方や業界就職など自己の将来像を描く参考にする。（月1回程度実施）

授業計画	
テーマ	内容・方法・達成目標
《人間力育成》 1. キャリア構築における自己分析	興味関心など、自分史作成を通じて振り返り確認する。
2. キャリア構築における他者による分析	自己分析により自覚した強み、長所を他者の視点から 確認してもらい、気づきを得る。
3. 業界、企業、職種研究	自己の希望している業界の現状と今後の発展、 業界の企業と、業界マップの作成、 自己の能力を発揮できる職種を知る。
4. キャリアマップの作成	これまでのテーマで知りえたことを基に、自己のキャリア マップを作成し、自己の強み、興味から選択した業界、 それに向けた今後の行動を認識する。
《学びの根》 1. 常用漢字	常用漢字を使用することを意識させた就職作文や 履歴書作成通じ、文章作成力の向上を図る。
《ABioゼミ》 業界人講演	業界人の講演を聴き、働き方や業界就職など 自己の将来像を描く参考にする。

評価方法	評価割合		
右の評価割合で総合的に判断する。		出席	70 %
		授業貢献	30 %
			%
			%
			%

教科書・教材

コミュニケーション検定　初級　公式ガイドブック

学生へのメッセージ

授業計画書

担当教員名: 各科担当　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　2年次 フラワーコーディネートコース	就職実務	※	※ コマ （　　）	※ コマ （　　）
			備考 対面授業と遠隔授業の併用実施	

授業のねらい

就職活動に向けた対策、準備

授業計画	
テーマ	内容・方法・達成目標
各学年に応じた就職活動対策を実施 担任、就職部による面談も随時実施	

評価方法	評価割合		
右の評価割合で総合的に判断する。		出席	70 %
		活動状況	30 %
			%
			%
			%

教科書・教材

学生へのメッセージ

授業計画書

担当教員名: 秋山　正之　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　1年次 フラワーコーディネートコース	一般教養	後期	1 コマ （　　）	16 コマ （　　）
			備考　対面授業のみ実施	

授業のねらい

社会・組織の一員として必要不可欠な社会常識を理解し、初歩的な仕事を処理するために必要な知識やビジネスマナーを学び、社内外の人と良好な関係を築くために求められるコミュニケーション能力を習得する。1月に行われるビジネスマナー検定3級の合格を目指す。

授業計画

回	テーマ・内容	方法・達成目標
1	導入	なぜ社会人常識マナーが必要か
2	社会と組織	社会人としての自覚、組織と役割
3	仕事と成果	仕事と目標、主体性と組織運営
4	一般知識	基礎用語、基礎知識
5	ビジネス計算	計数センスを磨く
6	ビジネスコミュニケーション	仕事の成果と人間関係
7	社会人にふさわしい言葉使い	尊敬語、丁寧語、謙譲語
8	ビジネス文書	ビジネス文書の書き方、種類、グラフの種類と作成
9	職場のマナー	出勤から終業まで、公私と機密のけじめ
10	来客対応	来客対応の重要性、手順
11	電話対応	電話を受ける、電話を掛ける、FAXする
12	交際業務	慶事、弔事、見舞い
13	文書類の受け取りと発送	発信文書の受け取り、発送、職場環境を整える
14	検定対策①	社会人常識マナー検定の過去問題　解説
15	検定対策②	社会人常識マナー検定の過去問題　解説
16	検定対策③	社会人常識マナー検定の過去問題　解説

評価方法

課題と出席及び受講態度を含め総合的に判断する。

評価割合		
出席	20	%
受講態度	30	%
課題	50	%
		%
		%

教科書・教材

社会人常識マナー検定テキスト2・3級

学生へのメッセージ

ただ暗記するだけではなく、日常生活でのマナー実践を心がけるようにする。

授業計画書

担当教員名: 峯岸　希一　　計画書作成日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　1年次 フラワーコーディネートコース	OA実習	前期	2 コマ (　　)	32 コマ (
			備考 対面授業のみ実施 年度末に資格試験実施予定	

現在、私達の生活でごく当たり前に使用するようになったパソコン。もちろん、仕事の上でもいまや1人1台が当然の時代である。OA実習では、企業でも使用率の高いマイクロソフトエクセルの使用方法を学ぶ。就職後、実務でのパソコン操作に役立つ知識、及びアプリケーション操作を身につける事を目的としている。SDG's社会ではペーパーレスが必須であり、デジタル化を推進するための授業でもある。

授業計画	
テーマ	内容・方法・達成目標
Windowsの基本操作	パソコンの基本操作、および入力について学ぶ。入力操作の手順を覚えることが目標。
Excelの基本操作 データの入力	Excelの画面構成の仕組みを理解する。データの入力方法を理解する。Excelのデータ扱いの違いについて覚えることがポイント。
データの編集・表の作成	データの移動とコピー・行列の操作。作表の仕方、表示形式の理解。表を理解しながら作成できることが目標。
練習問題	今までの操作について演習問題を解き、操作を身につける
ブックの印刷 グラフと図形の作成	印刷イメージの確認・ページ設定・グラフの作成。印刷の基本、グラフ作成の手順を覚え、グラフ作成がスムーズにできることが目標。
ブックの利用と管理	ワークシートやウインドウの操作を理解し、作業の中で複数の方法から使えることが目標。

評価方法	評価割合		
授業への取り組み方、タイピング習得状況、課題作業、期末試験結果を評価対象とします。		平常点	20 %
		課題作業	20 %
		期末試験	60 %
			%
			%

教科書・教材

Excel2016クイックマスター基本編、Excel表計算処理技能認定試験3級問題集(2016対応)

学生へのメッセージ

しっかりとしたアプリケーションスキルを身につけましょう。今までコンピュータをあまり使用したことのない人も心配は無用です。検定合格を目標として、頑張りましょう。

授業計画書

担当教員名: 峯岸　希一　　計画書作成日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　2年次 植物・園芸デザインコース	OA実習	後期	3 コマ (　　)	32 コマ (　　)
			備考　対面授業のみ実施 年度末に資格試験実施予定	

現在、私達の生活でごく当たり前に使用するようになったパソコン。もちろん、仕事の上でもいまや1人1台が当然の時代である。OA実習では、企業でも使用率の高いマイクロソフトエクセルの使用方法を学ぶ。就職後、実務でのパソコン操作に役立つ知識、及びアプリケーション操作を身につける事を目的としている。SDG's社会ではペーパーレスが必須であり、デジタル化を推進するための授業でもある。

授業計画	
テーマ	内容・方法・達成目標
関数	Excelで使用する基本的な関数を学ぶ。関数の書式、呼び出し方。 数式バーでの関数の理解を目指す。
練習問題	練習問題を通じ、今までの理解度を確認する。
データベース機能	Excelを使用したデータベース機能を学ぶと共に、データベースの構成を学ぶ。リスト形式の用語と形式の特徴を覚えることが目標。
サーティファイExcel3級検定対策(練習問題)3週間	検定対策問題集を使用して、問題独特のクセや解き方を学習する。問題を沢山解く中でスピードアップも狙う。(60%の出来を目指す)
サーティファイExcel3級検定対策(模擬問題)5週間	問題に慣れてきたら、実際の試験を想定し、同じ環境での模擬問題を行う。個人差がでてくる頃なので、個人対応を行い弱点克服を狙う。(模擬は合格得点以上を目指す)
サーティファイExcel3級検定試験	USB内のプログラムを利用して、資格試験を行う。

評価方法	評価割合		
授業への取り組み方、タイピング習得状況、課題作業、資格試験結果を評価対象とします。		平常点	20 %
		課題作業	20 %
		資格試験結果	60 %
			%
			%

教科書・教材

Excel2016クイックマスター基本編、Excel表計算処理技能認定試験3級問題集(2016対応)

学生へのメッセージ

しっかりとしたアプリケーションスキルを身につけましょう。今までコンピュータをあまり使用したことのない人も心配は無用です。検定合格を目標として、頑張りましょう。

授業計画書

担当教員名: 各科担当　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科1・2年次 フラワーコーディネートコース	地域活動	通年	※ コマ （　　）	32 コマ （　　）
			備考 対面授業のみ実施	

授業のねらい

校訓における「調和」の精神のもと、地域で行われるイベント、行事へボランティアとして参画し、地域、社会との調和を体験する。

授業計画	
テーマ	内容・方法・達成目標
規定回数　イベント、ボランティアへの参加	

評価方法	評価割合	
右の評価割合で判断する。		出席 100 %
		%
		%
		%
		%

教科書・教材

学生へのメッセージ